

水道事業評価(令和7年度)						担当課	上水道維持課
1 事業情報							
目指すべき方向性	強靱	基本政策	2 安定・快適な水道水の供給	施 策	2-3 維持管理の充実	事 業	2-3-2 管網の適切な維持管理

2 事業評価の概要

項目	内容
基本政策	快適な生活のために、浄配水場や配水管の計画的・効率的な更新および適切な維持管理を行うとともに、非常時の被害を最小限にする管網の整備を推進し、様々な漏水対策を図り、常に安定した水圧で途切れることなく水道水を供給します。
事業目的	・管網の適切な維持管理を図るため、マッピングシステムを活用し漏水調査を行い、漏水修理などを実施します。 ・水道事故や漏水の早期復旧に対応するため、給水台帳を整備します。
取組内容、数値目標及びスケジュール(単年度)	・給水台帳、竣工図、道路台帳、管網解析システムなどの各種情報を基にマッピングシステムのデータ更新を継続的にを行います。 ・より効果的な維持管理ができるようシステム改造を含め、マッピングシステムのあり方について検討します。 ・マッピングシステムについて作成されたマニュアルに関し、利用する担当者の意見を反映して、更なる操作性の向上を図ります。
期間	令和7年4月 ～ 令和8年3月
予算額 決算額	予算額
	単位:千円
	総事業費
	収益的支出
	資本的支出
	総事業費
	収益的支出
	資本的支出
	執行率
単位: %	
事業費計	
工事費	
原材料費	
委託料	
賃借料	
その他	
人件費	

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	121,095千円	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	73%		
進捗状況	・給水台帳、竣工図などの各種情報を基にマッピングシステムのデータ更新を継続的に行いました。 ・マッピングシステムのデータ精度向上のため、過年度の給水台帳等を点検し、データの検証・修正を継続的に行いました。			

4 終了時評価(事業の達成状況)

達成状況	・給水台帳、竣工図、道路台帳などの各種情報を基にマッピングシステムのデータ更新を継続的にを行い、情報の鮮度及び正確性を向上させました。 ・システム改修を継続して行い、より安定で効率的な作業ができるシステムとして性能向上を行いました。 ・管網解析システムについて整備を行い、情報の整理及び正確性を向上させました。 ・マッピングシステムのマニュアルを整備しました。
------	---

5 水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標

水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標					R7	R8	R9	R10
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				

6 視点評価及び総合評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
有効性	指標や目標値の達成度	B	説明責任	意見や苦情に対する適切な対応	B
	目的に対する実施内容	A		情報発信の実施	B
効率性	業務のプロセス改善(創意工夫)	B	組織学習	職員の知識向上のための取組み	B
	投入した費用・労力に対する成果	B		知識の伝達	A
評価理由(特記事項)					総合評価
次期システム更新に向けシステム内データの整備を推進しました。付随的にシステム内のデータの分析が進み、漏水等の因果関係に対する職員の知識向上が図られました。システム内データの正確性が確保されることで、効率的に活用できることから、継続してデータ更新を行い、次代へと引き継いでいきます。					B

7 今後の実施方針等

事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
マッピングシステムのデータ整備及びシステム面の整備を引き続き実施していきます。	現状維持で継続